

令和3年度 第4回
首里城公園管理体制構築検討委員会

【資料4】 正殿工事期間中の防火対策等

正殿工事期間中の開園エリアの区域の増減

【第4回委員会時点（案）】

・正殿工事期間中については、工事の状況等の変化に応じた6つのフェーズが設定されているが、開園エリアと工事エリアの関係が変化(開園エリアの区域が増減)するのは以下のフェーズである。

- ▼フェーズ① 正殿遺構の覆屋・見学デッキ 解体撤去
- ▼フェーズ② 木材倉庫・原寸場 完成 (原寸場廻り見学デッキの管理運営の開始)
- ▼フェーズ④ 素屋根 完成 (素屋根内の見学エリアの管理運営の開始)
- ▼フェーズ⑤ 仮施設 解体撤去

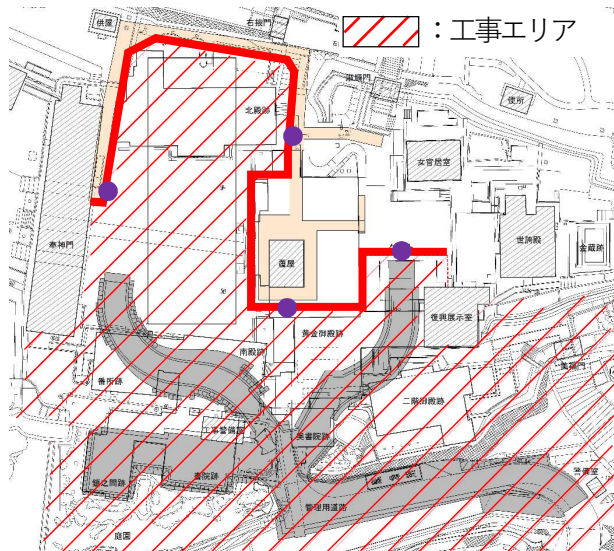
▼：開園エリアの区域増 ▼：開園エリアの区域減

	R 3 (年度)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9以降
フェーズ		▼① ●② ●③	▼●			▼●●⑤	▼●⑥ 正殿完成

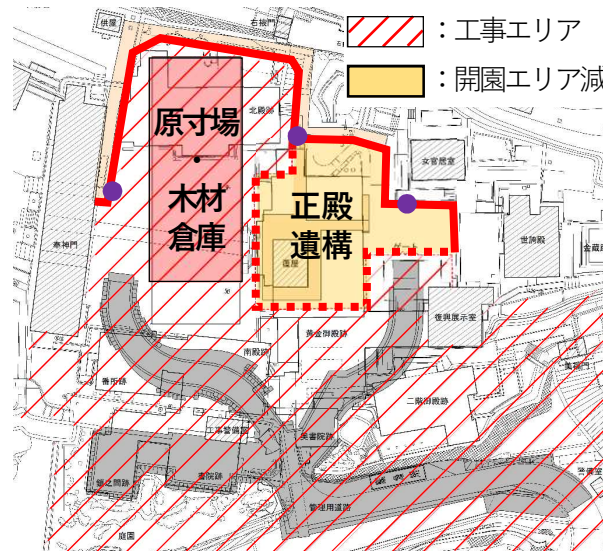
フェーズ	時期	開園エリアの区域増	開園エリアの区域減
① 木材倉庫・原寸場工事中	R4	—	正殿遺構 周辺
② 木材倉庫・原寸場 完成 ～素屋根 着工前	R4	原寸場廻り見学デッキ	—
③ 素屋根工事中	R4-R5	—	—
④ 素屋根完成 正殿工事中 (素屋根内)	R5-R7	素屋根見学エリア	—
⑤ 正殿工事中 (仮施設解体撤去中)	R7	—	原寸場廻り見学デッキ 素屋根見学エリア
⑥ 正殿・両廊下・仮設階段棟工事中	R7-R8	—	—

正殿工事期間中の開園エリアの区域の増減

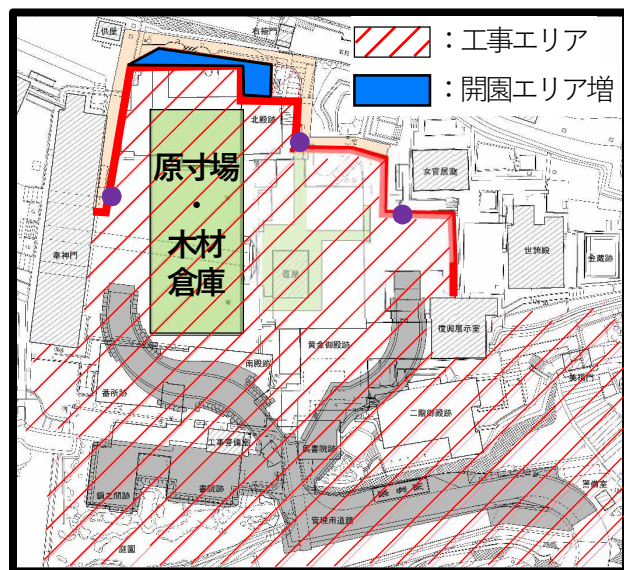
【第4回委員会時点(案)】



フェーズ0 令和4年3月

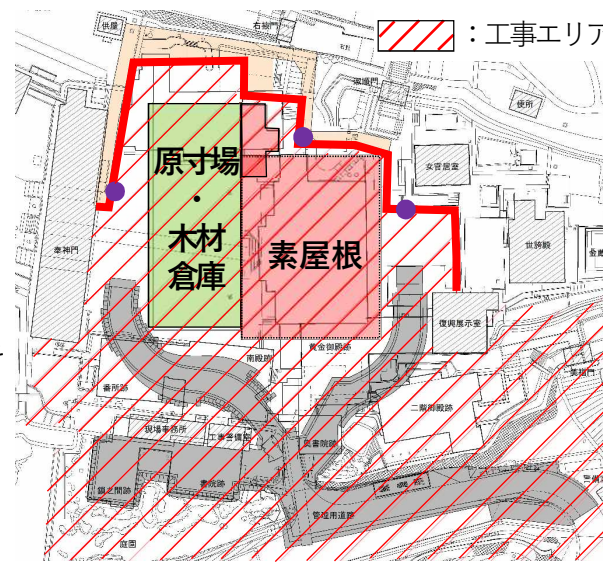


フェーズ① 木材倉庫・原寸場工事中



フェーズ② 木材倉庫・原寸場 完成
(原寸場廻り見学デッキの管理運営の開始)

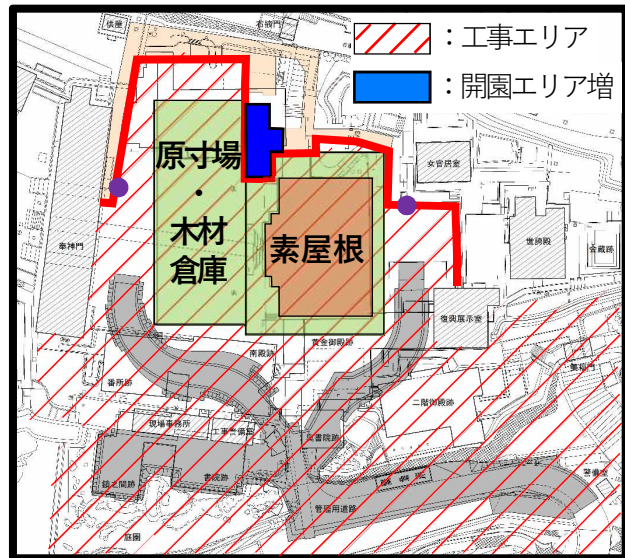
原寸場廻り見デッキ
の管理運営



フェーズ③ 素屋根工事中

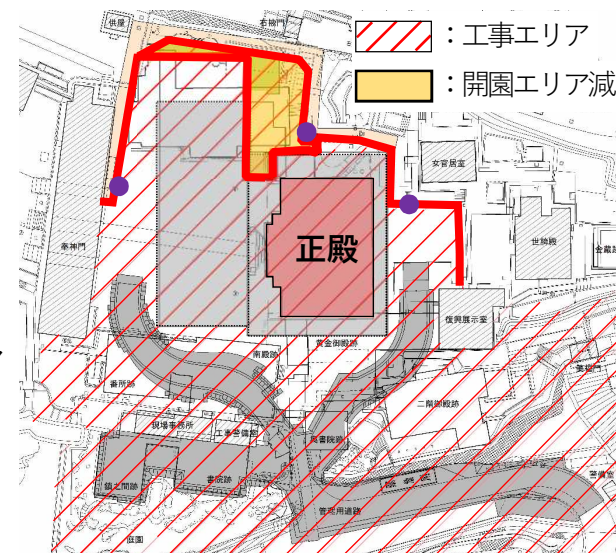
正殿工事期間中の開園エリアの区域の増減

【第4回委員会時点(案)】

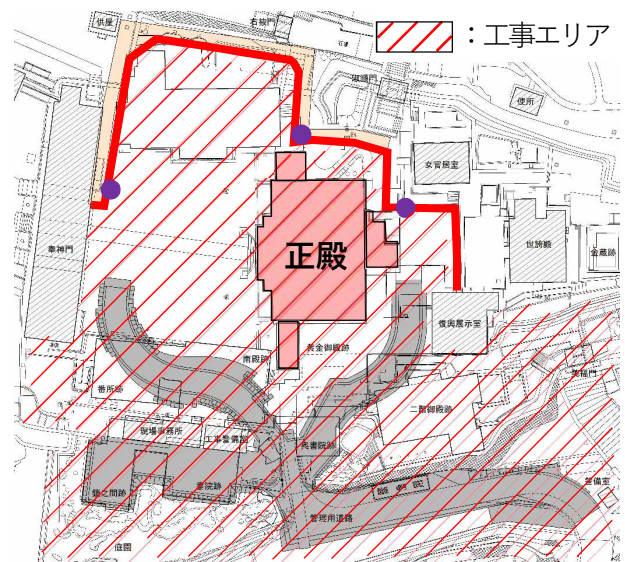


フェーズ④素屋根 完成
(見学エリアの管理運営の開始)

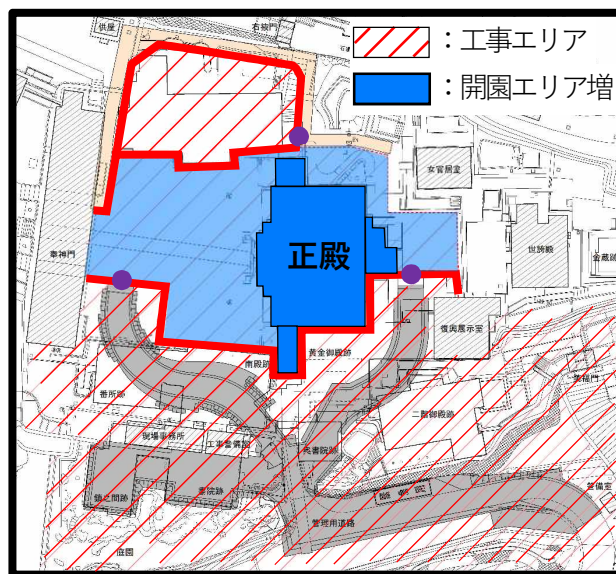
素屋根見学エリア
の管理運営



フェーズ⑤ 仮設施設 解体撤去



フェーズ⑥ 正殿・両廊下・仮設階段棟
工事中



正殿単体完成時 (R 8)

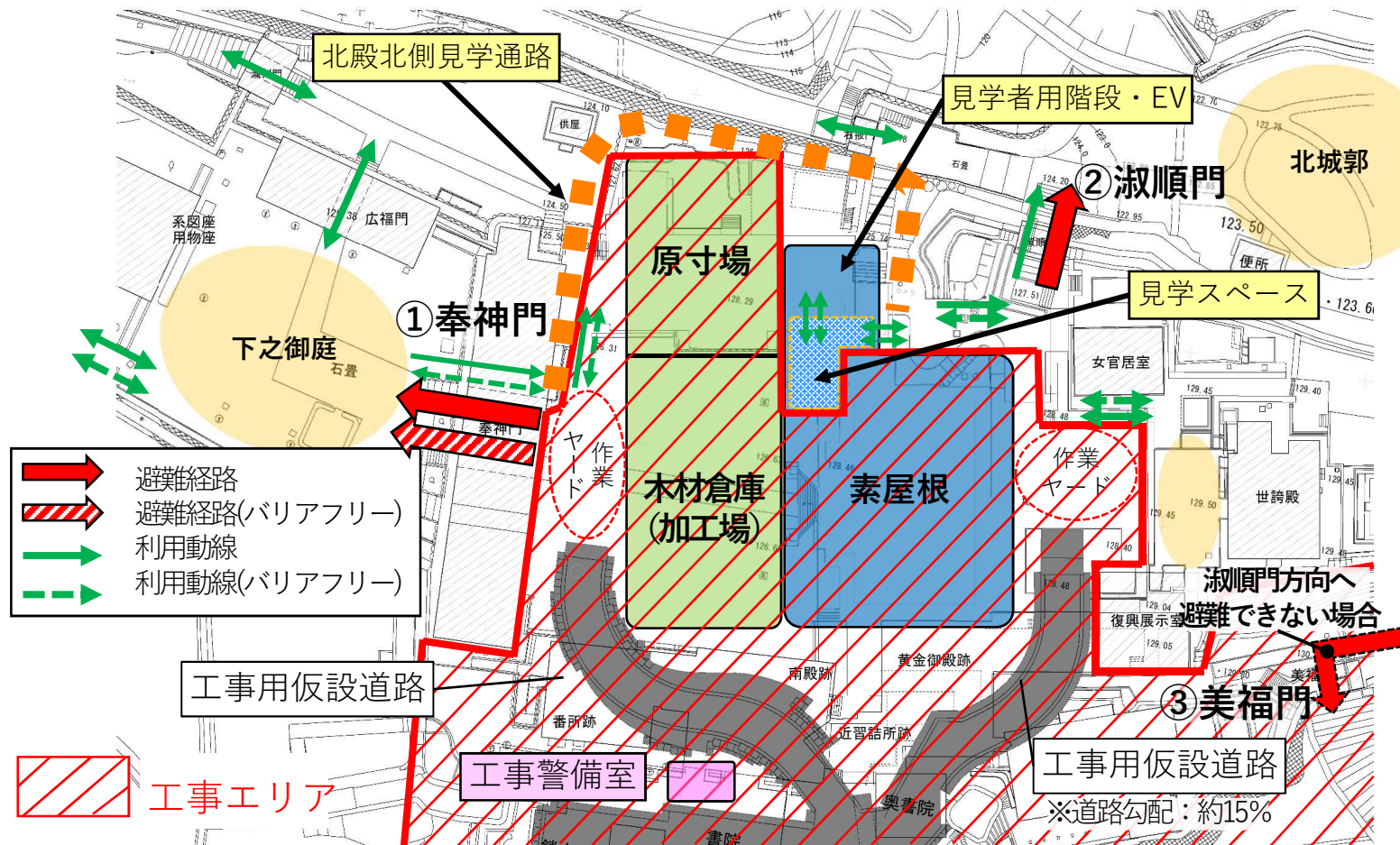
正殿の管理運営
北殿・南殿等の工事

課題①：避難経路及び消防隊の進入経路【フェーズ①～⑥共通】

正殿工事期間中における国営有料区域で発災した場合の避難経路は3方向(①奉神門、②淑順門、③美福門)あるが、仮施設等があることから国営有料区域内の避難上安全な屋外空間は限定的であり、発災状況によっては、公園利用者の避難誘導に支障が生じる可能性がある。

また、消防隊の進入経路のうち、管理用道路側については、工事エリアを通過する必要がある。

⇒ 工事の状況等の変化に応じて、避難経路及び消防隊の進入経路を確保できるように、仮囲い扉の位置等について、国と調整を行う。



課題②：工事エリアと開園エリアの情報共有・連携【フェーズ①～⑥共通】

【昼間】公園利用者の避難誘導の経路や消防隊の進入経路は、工事エリアまたは開園エリアそれぞれで完結できないことから、工事エリア（工事警備室）及び開園エリア（奉神門）間の連携が必要である。また、昼間の公園全体の状況把握は、公園管理センターで行っていることから、公園管理センターにおける公園全体の情報収集も必要である。

【夜間】城郭外の首里杜館と城郭内は距離があることから、城郭内で発災した場合の初動対応は、工事エリア（工事警備室）及び開園エリア（奉神門）の連携の上、必要な人員等の確保が必要である。また、夜間は城門を施錠していることから、消防隊の進入経路の確保のため、城門の解錠の対応が必要である。

⇒ 各フェーズにおける工事エリアと開園エリアの情報共有・連携について、具体的な対応や必要な設備等を、国と連携し、検討する。

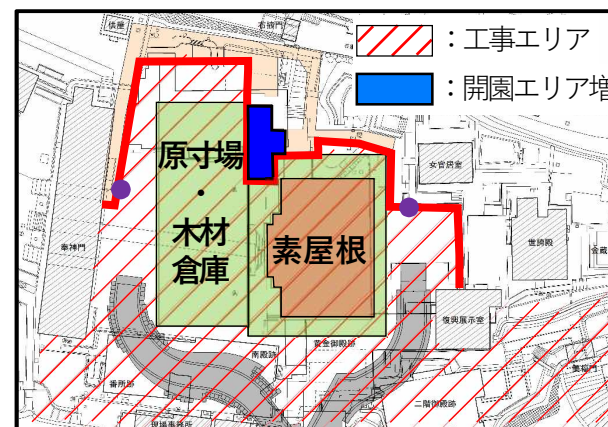
課題③：見学者用階段・E V、見学スペースの管理【フェーズ④】

・建築基準法上の仮設建築物の一部であり、施設そのもの自体は、工事受注者の管理であるが、公園利用者が立ち入るエリアであり、開園エリアと同様に利用者の安全管理が求められる。

⇒ フェーズ④までに、見学者用階段・E V、見学スペースの詳細な初動対応（初期消火・避難誘導等）の役割分担や利用者の安全管理に必要な設備等を国と連携し、検討する。

▼：開園エリアの区域増 ▲：開園エリアの区域減

R 3 (年度)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9以降
	▼ ▲ ● ● ●	▼ ●		▲ ● ●	▼ ●	
	① ② ③		④	⑤	⑥	正殿完成



フェーズ④素屋根 完成
 (見学エリアの管理運営の開始) 6

- ・正殿単体完成時における指揮命令系統・役割分担の考え方を踏まえつつ、正殿工事期間中における指揮命令系統や役割分担の考え方を以下のとおり整理した。工事エリアと連携し、詳細な初動対応（初期消火、避難誘導等）や風水害や地震災害等の場合の考え方の検討を行う。

< 正殿工事期間中の指揮命令系統・役割分担の考え方(案) >

【昼間・夜間 共通】

- ・感知器の作動から現場の確認、消防への通報（非火災/本火災）、初期消火は、一連の初動対応であり、**各エリアで対応**※1することを基本として、必要な人員を各エリアに配置する。
ただし、工事エリア及び城郭内の開園エリアの初期消火及び避難誘導は相互連携を前提とした人員の配置を検討する。
- ・**他のエリアは**、状況に応じて可能な範囲で、初期消火や避難誘導等の**応援**を行う。
- ・**公園管理センター**は、公園全体※2の公園利用者の避難誘導や**日常の防災対応**※3など**公園全体の防災対応**を行う。

【夜間】

- ・**夜間は、工事警備室及び奉神門で対応する者の役割が重要**であり、現場の警備員・監視員等への指示や消防への通報、モニター監視等において迅速かつ的確な判断が求められる。
⇒ **初動対応の指揮・判断が可能な人員を城郭内に配置し、城郭内の体制強化**を図る。

【昼間】

- ・**昼間は、初期消火と避難誘導を同時に実施**する必要があり、**対応に適した人材は異なる**。
⇒ 初期消火、避難誘導に必要な人員を踏まえ、各人へ求める役割や全体の配置を検討する。
- ・敷地特性から**公園全体での避難誘導も重要**であり、発災状況等に応じた判断が求められる。
⇒ 公園管理センターは、平常時・非常時ともに**公園全体の状況把握・対応を担う**ものとする。

※1 **各エリアで対応**：工事エリアで発災の場合は工事警備室、城郭内開園エリアで発災の場合は奉神門、城郭外で発災の場合は首里杜館がそれぞれ初動対応の指揮命令の拠点とし、状況に応じて、公園管理センターへ引き継ぐ。昼間は、各エリア内に配置の警備員等が初期消火や避難誘導等を行う。

※2 **公園全体**：円覚寺エリア等については今後、詳細を検討する。

※3 **日常の防災対応**：自衛消防隊の整備・訓練、日々の防災警備・点検、関係機関との情報共有など